



校報

# 水糸者

No. 1268

元年度・第127号

## 心を1つにして跳び続けた種小っ子

5日の昼休み時間に『縦割り班対抗なわとびグランプリ』が行われ、今まで練習してきた成果を全て発揮し、保護者の皆さんも応援に駆け付けた体育館は笑顔と声援、歓声、拍手に包まれました。

### 〔なわとびグランプリ・ドキュメント〕



どのチームも、友と心を1つにして元気よく跳び続けました。



低学年に優しく手を添える姿、低学年の子が跳びやすいように、縄の回転数を上手に調整している6年生の姿。



ハーフタイムではしっかり反省をし、後半の競技に備える様子。



頑張っているみんなに応援する種小っ子たち。ラグビーの『ノーサイド』の精神がしっかり身に付いている種小っ子。



競技終了の瞬間、喜びを爆発させる子どもの姿もありました。今まで一生懸命に頑張ってきたから心から感激が湧き上がってくるのですね。



優勝した「5班」チーム。笑顔満開です！

負けて悔し涙を流している子に寄り添い、励ましていた1年生。今年の種小っ子も優しい子に育っています。





# 大会に向けて練習を 頑張った種小っ子

どのチームも「わからん時は教えっこ、うれしい時ははしゃぎっこ、困った時は助けっこ」をしながら、心を1つにして頑張り続けた2週間の種小っ子達。これが種小っ子です！



大会のめあてに向かい、2週間やり続けました。心が成長した良い2週間でした。



心が1つになるにつれ、どのチームも上達していきました。



熱戦の全ては11月19日のチーム分け抽選会(別名:赤い糸抽選会)からスタートしました。



「赤い糸」の行方を、固唾を飲んで見守る子ども達

## 競技結果

順位	グループ	回数	リーダー名
1	5	284回	佐々木陽聖さん、安藤 佑さん
2	9	249回	角嶋 凌雅さん、角嶋 柊雅さん
3	4	241回	高城 妃沙さん、大坪 琉那さん
校長賞	12	208回	石倉 滉太さん、神田 音寧さん
	13	132回	熊谷 凧紗さん、百目木玲奈さん

## 校長賞の理由

12グループは、初日の練習の時の回数(43回)が全チーム中一番少なかったが、心を1つにして今日まで頑張り続けた姿勢が素晴らしかったから。



13グループは、大会前日の練習中に激しく転倒した子が、チームに迷惑をかけまいと泣かずに歯を食いしばり最後まで練習を続けた姿と、その子を励まし続けたチームの姿が素晴らしかったから。

今回の成功は、6年生の普段の生活態度にあります。全ての学校生活において6年生の、わかるまで、できるようになるまで丁寧に親切にやさしく下級生に教える姿は、誰とでも協力して心を1つにして取り組むことの大切さや必要性などを、下級生に教えていたのです。6年生の普段の姿を手本に、心を1つにして練習や競技を頑張る大切さに下級生も気づき、全員が最後まで頑張れたから、今年度の大会も大きな感動となったのでしょうか。6年生が背中中で示してきた「種市小学校の最上級生の姿」が全校に確実に伝わっている、広まっていることも感じ入られたうれしい時間ともなりました。「協力」の本当の意味を知り、「絆」と「友情」が深まった事と『高まっていくチームの法則』をつかんだことも含め、実に実りの多い大会となりました。